

島根水道 (株)



狩野勝義さん宅のアジサイ



0株以上のアジサイを植えている。濃いブルーのアジサイが道路から長く見える。見事な眺めです。来年、見ごろにはぜひ見に来て下さい。狩野さんの丹精こめたアジサイです。

菅原地区 斜面に10



東北大震災ボランティア隊を結成し、宮城県石巻市へ向かった。女川町にて。三月十一日、東北は誰も経験したことのない巨大地震に見舞われた。島根水道(株)社長 田本稔さんは、石巻市の取引先、佐藤工業所のこと気がかりだった。被災1カ月後、電話連絡をし、被災当時の話や必要物資を聞き、家庭用ポイラーを9台かき集めて送った。五月に入り自らも現地へ赴いた。現実の悲惨さは、メディアなどで知る以上のものだった。

ギャラC小町

発行 ギャラリーC 宍道町宍道1441-1
tel 0852-66-3710
fax 0852-66-9977
E-mail info:gallaly-c.jp
URL www.gallaly-c.jp
編集人 宮崎峰子
スタッフ小町

「自分たちにできることは何か」とは何か、何とかしなければそんないきが募った。

六月二十日、十二名のボランティア隊はクリン観光のバスに乗り、出発した。社長の思いに全社員が賛同し、参加を申し出た。うれしいことだった。バスで十五時間、女川町に入った。

(女川町の被災現場は何もなかった)



北上町は1.5メートルの津波に襲われた。建物は残っているが、床下や畑・田んぼには泥が積もっている。老夫婦宅の床下の泥出し作業。100個以上の土嚢袋が埋まった。

なんきん小町? なあに



いづもなんきんの本場 しんじちよう

金魚の名前で「なんきん小町」この夏、ギャラリーCでは、なんきん小町のポロシャツを制服として着ています。支所・金融機関・各企業や町民の皆さんが、たくさん着ていきます。このポロシャツは、「いづもなんきん」を宍道町の特産ブランドにしよう、実行委員会を立ち上げ企画したものです。キャラクターは、プサカワイイ物を作りました。

名前を小学校に募集し、審査の結果「なんきん小町」と決まりました。命名してくれたのは、宍道町白石地区、宍道小学校3年生小田貴久くん。いづもなんきんのなんきんと、可愛い人の意味小町をつけました。お父さんと一緒に考えました。白と紺2種類のポロシャツ、2500円で販売中、購入後希望の方は商工会まで問い合わせください。(ピースサインの小田君です。)



(災害ボランティア作業の様子)

「ありがとうございました。助かりました」お礼の言葉に、これからもここで生きていくという、前向きな姿勢に励まされた。一週間のボランティア作業、感謝の気持ちを忘れず、精一杯生きていこうとする東北人の、我慢強さ・素材で真面目な人柄に触れ、後ろ髪を惹かれる思い



で被災地を後にした。

田本社長は「貴重な体験でした。社員一人ひとり、自らの考えで行動し、不平不満を言わず、黙々と働く姿に絆を感じました。」「すばらしい社員を誇りに思います」と話してくれた。東北被災地は、まだまだボランティアが足りない、手つかずの場所がたくさんあるという。特に若い人達に、東北に出かけ、少しでもお手伝いに参加してほしい。ボランティア隊の方たちのメッセージだ。私たちがまた、チャンスがあるなら違うメンバーで、東北へ出かけていきたい。「そのときは、本業の水道工事でお手伝いしたい」と話してくれた。(本社前にて、出発前に)



宍道中学校選択音楽合唱練習

NHK学校音楽コンクールに向け練習中、合唱部のない宍道中学校は、選択音楽生徒2・3年生で出場する。男子10人女子21人、荒尾徹志先生の指導のもと、8月4日プラパホールでのコンクールに臨みました。普段の授業でがんばる生徒たち、さて、結果は? 銀賞を受賞しました。

